

体育館用圧密厚貼フローリング
の施工上の留意点

後藤木材(株)マイウッド 圧密事業部

岐阜県各務ヶ原市須衛町 7 丁目 89-1

TEL.058-370-2100

FAX.058-370-6200

【販売代理店】

株式会社 こうけん

鹿児島市田上台 2 丁目 43 番 1 号

TEL.:099-284-7073

FAX: .099-284-7080

1. 体育館用圧密厚貼フローリング施工手順及び留意点

- ① 製品の搬入、保管
無垢材の性質上、膨張、収縮を防ぐために開梱した状態で必ず一週間以上放置し、十分に施工現場環境に馴染ませる。
保管は直射日光や雨水のかからない屋内の乾燥した場所に台や栈木を介して水平に置く。搬入時の取り扱いは丁寧かつ慎重におこなうこと。
- ② 天然木材を使用していますので一枚ごとに色柄が異なります。施工前に仮ならべを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。
- ③ モルタル下地は施工後、3週間以上経過していることを目安とし、含水率が8%以下になるまで十分乾燥させ、モルタル用水分計で測定して、測定検査成績書を施工者が添付すること。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じる。下地は十分に乾燥させて下さい。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じます。
(ソリ・膨れの原因)
- ④ 必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。また、捨て貼り合板の間は、2～3mm開け、継ぎ目段差がないように施工します。その際、捨て貼り材の継ぎ目とフローアの継ぎ目が揃わないようご注意ください。
- ⑤ フローリングは、接着剤併用隠し釘打ち貼りとしてください。
 - ・接着剤(JIS A5536) ポリウレタン樹脂接着剤
 - ・釘 ステープル釘
- ⑥ フローリングの貼り方
下地材の捨て貼り合板にポリウレタン接着剤を全面塗布した後、割付した墨出し線に沿って、曲がり、浮きがないように注意して、雄実基部に40～45度の角度でステープル釘を斜め釘打ちしてください。
- ⑦ 壁際部分は、湿気による突き上げの起こる恐れがありますので15～20mm程、間隔を取ってください。間隔部はエキスパンションゴム材等を充填してください。

2. 施工後の養生、サンダー掛け、ウレタン塗装

- ①. フローリング張り込み時に使用した接着剤は、十分な乾燥・硬化を確認し、必要があれば養生を行ってください。
- ②. サンダー掛けは、#40、#60、#100の3回掛けとしてください。
※サンダー掛けを行う際に、強めに研磨しますと木目が隆起する可能性がありますので、注意してください。当製品に使用しております天然木のスギ材は、夏目より冬目が硬い等の部位によるバラツキのある材料です。
- ③. ウレタン塗料は、水性タイプは絶対に使用しないでください。油性もしくは湿気硬化型等を使用してください。
- ④. 施工後は、高温多湿の状態ですと締め切ると、床材を突き上げの原因になることがあるので換気を充分に行ってください。

3. フローリングのご使用時の注意点

- ① 天然木を使用しておりますので、湿気による影響を受けます。床下の換気が出来る様、換気口の点検及び手入れを必ず行ってください。
- ② 重量物の搬入・搬出の場合、フロー表面の損傷を防ぐために、合板等で床面を保護して下さい。